

長崎近郊

東京在住の作曲家、上田城さん(仮)が主宰する「レイエム・プロジェクト」のコンサートが8月6日午後7時から、長崎市魚の町の市民会館文化ホールで開催される。同プロジェクトの長崎合唱団や広島合唱団など計130人が、広島市の被爆者が作詞し、上田さんが作曲した混声合唱組曲「生きとし、生けるものへ」を初めて披露する。

プロジェクトは、戦争や災害による犠牲者の追悼や被災者との交流が目的。阪神大震災の被災地神戸や被爆地広島などの各都市で、公募により合唱団をそれぞれ結成し、公演活動を続けている。長崎合唱団は2012年に活動を始めた。

「生きとし」は4曲で構成し、命の尊さを訴え、平和を願う思いが込められている。長崎合唱団員で長崎原爆の被爆者、小森孝子さん(79)と長崎市飽の浦町1が「広島、長崎」という地域を超えて一緒に歌える歌を」と上田さんに依頼。作詞は7歳で広島原爆に遭った詩人、上田由美子さん(70)と広島市1が担当した。

長崎市役所で7月3日に会見した小森さんは「とても素晴らしい曲で、歌うことに誇りを感じている。歌を聴いて今の平和の尊さを感してほしい」と呼び掛けた。上田さんは「世代や地域を超えて歌い継がれてほしい」と語った。入場料は、一般が前売り千円(当日1500円)、高校生以下は一律500円。前売り券は浜屋ブレイガイドなどで販売。問い合わせは上田益さん(電0800-518116 GOGON)。(宮本孝幸)

戦争犠牲追悼 合唱組曲初披露へ

広島市の被爆者作詞「生きとし、生けるものへ」8月6日・長崎でコンサート



紙面編集・山口栄治 (第3種郵便物認可)  
「生きとし、生けるものへ」の練習に臨む長崎合唱団  
→6月17日、長崎市上町、NBC別荘アールホール(上田益さん提供)